

冬から春へ

今季の冬は積雪も無く穏やかな日に恵まれました。

「大寒」以降、園内の梅の木からは小さな蕾が膨らみはじめ

2羽のハクセキレイの囀りが陽だまりの中で聞こえておりました。



初午

今年の 2 月 2 日は初午(はつうま)にあたります。

「初午」は 2 月の最初の午の日。この日は稲荷神のお祭りで、

全国各地の稲荷神社で豊作、商売繁盛、開運、家内安全を祈願します。

稲荷神のお使いといわれるキツネの好物の油揚げや、初午団子を供える風習もあります。

稲荷神社は全国に約 4 万社。農業、漁業、商売、家庭円満にご利益があるとされ、

京都市伏見区の伏見稲荷大社が総本社です。伏見稲荷によると、和銅 4 年(711 年)の 2 月の最初の午の日に、祭神が稲荷山(伊奈利山)の三箇峰に降りたという故事から、

稲荷神を祭る祭事が行われるようになったとされます。

旧暦 2 月の初午の日は今の 3 月にあたり、ちょうど稲作を始める時期だったため、

農耕の神様を祭るようになりまし。稲荷の名は「稲生り」から来たともいわれています。

また、その日から習い事を始めるという風習もありました。

初午は伏見稲荷をはじめ大阪の玉造稲荷、愛知県の豊川稲荷など、

各地の稲荷神社で盛大に祭りがとり行われます。ご近所のお稲荷さんにも赤いのぼりが立ち、

賑やかになるでしょう。初午の日には、赤飯や油揚げ、団子などを供えて祭ります。

稲荷神社といえばきつねがつきもの。きつねは稲荷神のお使い役で油揚げが大好物。

初午の日には、油揚げや油揚げにすし飯を詰めたものを奉納しました。

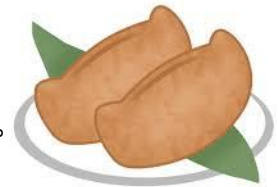
これが、いなり寿司の始まりで、きつねの大好物の油揚げを

人間もたくさん食べられるよう考案されました。

稲荷神社もいなり寿司も親しみを込めて「おいなりさん」と呼ばれています。

いなり寿司は、東日本では米俵に見立てた俵型ですが、

西日本ではきつねの耳に見立てた三角が主流です。



【お知らせ】

平成 31 年 3 月春彼岸会行事日程について

以下の期日で予定させていただきます。

3 月 21 日(祝)、3 月 23 日(土)、3 月 24 日(日)

読経時間は各日、午前 11 時と午後 2 時の 2 回でございます。

